

超軽量・高耐久タイヤチェーン

トラック・バス・ローリー用

ライトマックス[®] Light Max[®]



トラック・トラクタレーラ用

カミオンマックス[®] Camion Max[®]

タイヤチェーンはタイヤサイズに適合するように設計されておりますが、車輛によっては、装着できない場合があります。ご購入されましたら必ずタイヤに装着し、タイヤチェーンとタイヤハウスのクリアランスを十分にご確認ください。

取扱説明書

つばきタイヤチェーンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

タイヤチェーンを安全に正しくご使用いただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。記載された内容にしたがって正しい装着と使用方法でお使いください。

取扱説明書の内容についてご不明な点があれば、当社またはお買い上げいただいた販売店までお問合せください。本書は紛失しないように車の中に保管してください。

はじめに

- 1 お買い上げいただいたタイヤチェーンが、ご使用の車輛のタイヤに適合するサイズかご確認の上、必ず走行前に装着確認ください。
- 2 積雪路や凍結路以外での装着走行はやめてください。
- 3 タイヤチェーンを装着しても、絶対に安全とは言えません。スピードを落とし、車間距離を十分にとってください。
- 4 タイヤチェーンは路面と接触することにより、摩耗します。
- 5 都道府県道路交通法施行規則または道路交通規則にしたがって、タイヤチェーンを装着してください。

目次	ページ	ページ	
安全上のご注意	1	[4] 装着走行上の注意事項	5
[1] 取付方法	3	[5] 使用後の点検と手入れのしかた	6
[2] 応急処置	5	[6] 名称(構造)	6
[3] 取外し方法	5		

安全上のご注意

運転の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。

注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。


この取扱説明書では安全注意事項のランクを「警告」および「注意」として区分してあります。



取扱いを誤った場合に、死亡又は重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告 危険防止のため、下記の事項に従ってください。

- 1 車輛特性に適合したタイヤチェーンを選定・ご使用ください。ライトトラック用、マイクロバス用タイヤチェーンを除雪車輛に使用すると耐久寿命が短くなり早期破断することがあります。
- 2 タイヤサイズに適合したタイヤチェーンを必ずご使用ください。同一タイヤサイズでも、メーカー、通称名、形状、ノーマルタイヤ、スタッドレスタイヤ、新品、空気圧、摩耗度合いなどによって大きさが異なります。走行前に必ず装着確認ください。

- 3 タイヤチェーンは、タイヤのすべり止め装置以外の目的には絶対に使用しないでください。他の目的(けん引、吊り下げなど)に使用すると破断することがあり、事故の原因になります。
- 4 当社製品と異なる製品を組合せてのご使用は、絶対におやめください。
- 5 タイヤチェーンを改造しないでください。
- 6 摩耗したクロスチェーンを反転させて使用することは絶対におやめください。
早期に破断し、重大な事故の原因となります。
- 7 車輛総質量20トン以上のときは、カムオンマックスをご使用ください。
ライトマックスでは、短距離走行でクロスチェーンの破断が生じることがあります。
- 8 安全性を高めるため、ダブルタイヤにはトリプルチェーンをご使用ください。また、複輪間隔に装着余裕があるかどうか必ずご確認ください。
- 9 山道(特に降坂路)では、操舵輪にも装着してください。
- 10 タイヤと車体とのスキマが少ない場合はタイヤチェーンが干渉することがありますので、予めご確認ください。
- 11 タイヤチェーン装着後は、30 km/h以内で走行してください。特にトンネル内では厳守してください。(高速走行はクロスチェーンの摩耗を早めるとともに、衝撃により破断し事故の原因となります。また、ハンドルをとられたり、制動がきかなくなり事故の原因となります。)
- 12 クロスリンクが1/3以上摩耗しているとき、また各部品に亀裂、変形、摩耗などの異常が見受けられるときはすみやかに使用を中止し、クロスチェーンを交換してください。
- 13 走行中に異常な音、震動、衝撃などを感じたときは、車輛を安全な場所に止め、ゆるみ、切断の有無を確認してください。
- 14 タイヤチェーン装着時の走行は、急発進、急加速、急制動、急ハンドルをやめてください。(タイヤの空転、制動不能、横すべり、ハンドル操作不能などが発生し事故の原因となります。)
- 15 車線変更を行う場合は、他の車輛に十分注意してゆっくりと変更してください。また、無理な追い越しは危険ですので絶対にやめてください。
- 16 わだちの多い積雪路や凍結路では、横すべりにご注意ください。



⚠ 注意 事故防止のため、下記の事項を守ってください。

- 1 取扱いには、手袋(軍手など)を使用してください。(フェンダとの接触、チェーン連結時の手のすべりなどで、思わぬ傷害の原因となります。)
- 2 装着後の余ったサイドリンクは切断するか、針金でくくりつけてください。(余ったサイドリンクをそのまま放置すると、フェンダ、ホイールなどが損傷する原因となります。ただし、摩耗したタイヤに合わせて切断すると、新品タイヤには短くなりますのでご注意ください。)
- 3 装着後タイヤチェーンがゆるんでいたたり、左右に片寄っているとフェンダ、タイヤ、ホイールなどが損傷する原因となります。装着しなおしてください。
- 4 積雪路や凍結路以外での装着走行はやめてください。
クロスリンクの摩耗が早まり早期破断や寿命低下が生じます。またタイヤの摩耗・損傷を早める原因や粉じん公害の原因となります。
- 5 100 m程度走行した後、装着状態を点検し、ゆるみ、片寄りなどがあれば、増締め修正をしてください。
- 6 タイヤの空気圧は、車輛メーカーの指定する値に設定してください。(空気圧が低いとクロスチェーンによるタイヤの損傷が生じることがあります。)
- 7 タイヤのショルダ部の溝にクロスチェーンがはまりこむような場合は、クロスチェーンによるサイドウォールの損傷が生じ易いので、頻繁に損傷をチェックしてください。
- 8 酸・アルカリでの洗浄は絶対にやめてください。

【1】取付方法

1. 安全確保

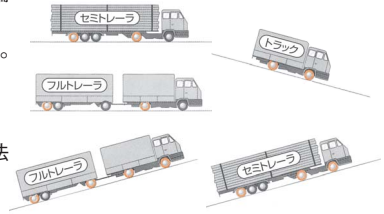
タイヤチェーンは、手袋（軍手など）を使用し、指定の着脱場所で装着してください。やむを得ず道路で行う場合は、安全な場所（平坦で余裕のある場所）を選び、走行中の他車に充分注意してください。

2. 適合の確認

- （1）同一タイヤサイズでも、メーカー、通称名、形状、ノーマルタイヤ、スタッドレスタイヤ、新品、空気圧、摩耗度合いなどによって大きさが異なります。ご使用前に必ず装着確認してください。
- （2）車輛総質量20トン以上のときは、カミオンマックスをご使用ください。ライトマックスでは短距離走行でクロスチェーンの破断が生じることがあります。

3. 装着位置

- （1）タイヤチェーンは駆動輪に装着し、必要に応じて従動輪にも装着してください。
- （2）山道（特に降坂路）では、操舵輪にも装着してください。（右図参照）
- （3）ダブルタイヤに装着する場合は、安全性を高めるため、トリプルチェーンをご使用ください。また、複輪間隔に装着余裕があるか右頁（8.（2））のR寸法を確認してください。（R寸法はタイヤサイズや装着リムによって異なります。）



4. ねじれの確認と修正

装着前にタイヤチェーンを路面に広げて、ねじれないことを確認してください。ねじれたまま装着走行しますと早期に破断して危険です。またタイヤの摩耗を早めます。



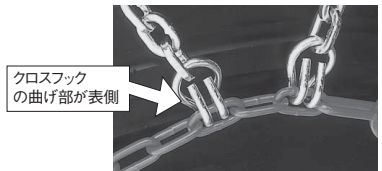
「ねじれ」た状態



「ねじれ」が取れた正常な状態

5. 表裏の確認

タイヤチェーンをタイヤにかぶせる際には、表裏の確認をしてください。表裏を反対にすると、タイヤを傷め危険です。右の写真のようにフックの曲げ部が表側になるよう装着してください。



クロスフックの曲げ部が表側

6. ジャッキを使用する場合

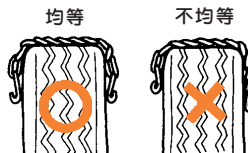
ジャッキを使用する場合は、必ず車止めをし、水平な地面にセットしてください。※積雪路・凍結路ではジャッキがすべり易いので特にご注意ください。

7. 方 向

クロスリンクは、片減りを生じ易いものです。取付け時（再使用のとき）には摩耗の少ない側を進行方向側になるように装着すれば、より長く使用できます。

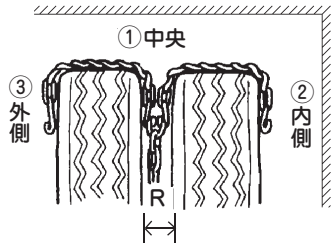
8. 連結方法

- （1）クロスチェーンはタイヤに均等にかぶせ、サイドチェーンをきつく締めてください。イーザーファスナのサイドチェーンへの取付位置は、内、外の余りリンクをできるだけ詰めて回数となるように連結してください。



イーザーファスナ

- ⚠ (2) トリプルチェーンの場合には、次の順序で連結してください。
 中央サイドチェーンは、走行中に外れないよう最初
 できるだけ強く締め付けてください。
- ①中央サイドチェーン
 - ②内側サイドチェーン
 - ③外側サイドチェーン



9. ゆるみ調整

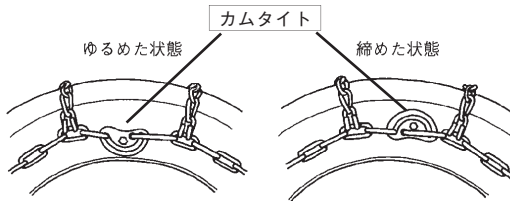
装着後、車輛を前後に5～6 m移動させるとタイヤチェーンにゆるみができますので、再びリンクをできるだけ詰めて、タイヤチェーンのゆるみをとってください。

⚠ 10. 余りリンク処理

装着後の余ったサイドリンクは切断するか、針金でくくりつけてください。ただし、摩耗したタイヤに合わせて切断しますと、新品タイヤには短くなりますのでご注意ください。

11. カムタイトの操作方法 (カムタイト付は、バンド不要です)

- (1) 装着前にすべてのカムタイトが「ゆるめた状態」になっているかを確認し、「締めた状態」のものがあればゆるめてください。カムタイトがタイヤの外側になるようにかぶせます。その他は基本的には取付方法1～10の要領と同様ですが、次の点にご留意ください。
- (2) 内、外サイドチェーンのイージーファスナを連結後、車輛を前後に5～6 m移動させるとタイヤチェーンにゆるみができますので、再びリンクをできるだけ詰めて、タイヤチェーンのゆるみをとってください。**(一部カミオンマックスはカムタイト付ではありません)**



(カムタイト半円は上下逆のものもあります)

- (3) 最後に、右の写真のように付属レンチでカムタイトを締め付けてください。(締め付けはできるだけ対角線上のものから行なえば片寄りが少なくなります。)
 ※装着時には1～2個のカムタイトで締め付け、残りは増締め時にご使用ください。もしそれ以上のカムタイトが締まるようであれば付属レンチでカムタイトをすべて「ゆるめた状態」に戻し、イージーファスナを外してサイドリンクの詰めからやり直してください。
- (4) 走行中、タイヤチェーンにゆるみが出て来たら、残りの「ゆるめた状態」のカムタイトで増締めをし、走行してください。

※カムタイトは、適度な締め付けを行ってください。
 (締め付けすぎると、タイヤのトレッドやサイドウォールを傷める場合があります。)

※付属レンチは紛失しないようご注意ください。



締め始めたところ

(カムタイト半円は上下逆のものもあります)

【2】応急処置

(リベアリンク例)



クロスチェーンが破断したときは、封入のリベアリンクでつないだ後、ハンマーなどで開いたところを閉じてください。
あくまでも応急処置ですから、すみやかに新品チェーンと交換してください。



※ カミオンマックスにはリベアリンクは封入されておりません。

【3】取外し方法

取付方法の手順を逆に行ってください。取付け時と同様、安全な場所を選び、走行中の他車に充分注意してください。

【4】装着走行上の注意事項



1 タイヤチェーン装着後は、30 km/h以内で走行してください。特にトンネル内では厳守してください。 (高速走行はクロスチェーンの摩耗を早めると共に、衝撃により破断し事故の原因となります。またハンドルをとられたり、制動がきかなくなり事故の原因となります。)



2 積雪路や凍結路では滑り易くなりますからスピードを落とし、車間距離を充分にとって安全運転を心がけてください。またわだちの多い路面では横すべりにご注意ください。



3 乾燥路や無雪氷路でのタイヤチェーン装着走行はやめてください。クロスチェーンの早期破断や寿命低下が生じます。またタイヤの摩耗・損傷を早める原因や粉じん公害の原因となります。



4 クロスリンク (路面に接触しているリンク) が1/3以上摩耗しているときは、すみやかに使用を中止し交換してください。(破断し事故の原因となります。)



5 100 m程度走行した後、装着状態を点検し、ゆるみ、片寄りなどがあれば、増締め修正をしてください。



6 走行中に異常な音、震動、衝撃などを感じたときは、車輛を安全な場所に止め、ゆるみ、破断の有無を確かめてください。(そのまま走行すると、事故の原因となります。)



7 急発進はタイヤの空転によって発進が不可能になり易く、またクロスチェーンが破断する場合がありますのでやめてください。



8 急加速、急ハンドルは横すべりが生じ易く非常に危険です。またクロスチェーンに過大な負荷を与え、破断の原因となりますのでやめてください。



9 急制動はかえって制動距離が長くなります。また横すべりが生じ易く車輛の安定性が低下し、非常に危険ですのでやめてください。



10 車線変更を行なう場合は、他の車輛に充分注意してゆっくりと変更してください。また無理な追い越しは危険です。絶対にやめてください。



11 登坂路では、路面の状態によって登坂が不可能になる場合があります。その場合には、車輛を一旦後退させ、アクセルをゆっくり踏んで再度登坂してください。

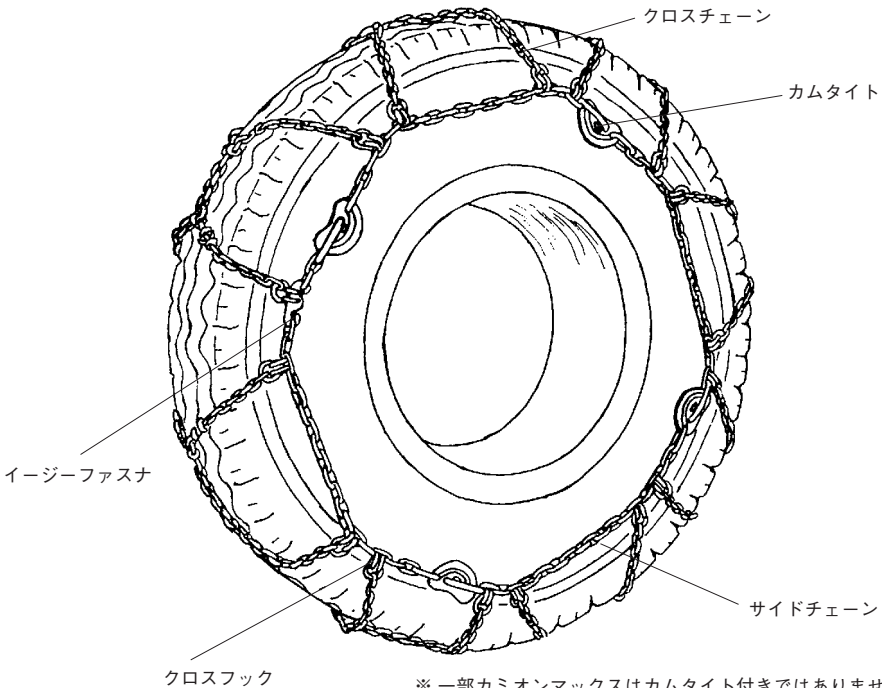


- ⚠️ **12** クロスチェーンが破断した場合は、すみやかに新品のクロスチェーンと交換してください。
- ⚠️ **13** 長距離走行の場合には約50km走行ごとに、ゆるみ、片寄り、タイヤの損傷、クロスリンクの摩耗などを点検してください。またタイヤの空気圧は車輛メーカーの指定する値に設定してください。(空気圧が低いとクロスチェーンによるタイヤの損傷が生じることがあります。)
- ⚠️ **14** 積雪路・凍結路での運転操作
 - (1) 発進するときは、ゆっくりと発進してください。タイヤの空転を防ぎます。
 - (2) 登坂路で発進するときは、上記操作にサイドブレーキを併用するとより効果が出ます。
 - (3) 降坂時や減速、停止時には、車の横すべり、スピンなどを防ぐため、ポンピング制動やエンジブレーキなどを有効に活用ください。

【5】 使用後の点検と手入れのしかた

- ⚠️ **1. 使用限度**
 - (1) クロスリンクが 1/3 以上摩耗しているとき。
 - (2) 各部品に亀裂・変形・摩耗などの異常が見受けられるとき。などを目安に交換してください。
- ⚠️ **2. 融雪剤が付着しているときや、長期間ご使用にならないときは、水洗後よく乾燥させ、防錆油などを塗って保管してください。屋外に放置したり、雨ざらしにしないでください。酸・アルカリでの洗浄は絶対にやめてください。**
- ⚠️ **3. クロスチェーンを交換する際は、新品のクロスフックをご使用ください。(ご使用後のクロスフックは再使用しないでください。)**

【6】 名称(構造)～シングルチェーン例



※一部カミオンマックスはカムタイト付きではありません。

保証について

1. 無償保証期間

当社出荷後18ヵ月間または使用開始後（お客様が装着し、走行開始から起算します）12ヵ月間のいずれが短い方をもって、当社の無償による保証期間と致します。ただし条件によっては有償となる場合があります。

2. 補償範囲

無償保証期間中に、お客様にてカタログ、取扱説明書等に準拠する正しい装着・使用方法・保守管理が行われていた場合において、当社製品に不具合が発生し、当社がこれを確認した場合は、速やかに当社製品または部品を無償で納入もしくは修理させていただきます。ただし無償保証の対象は、お納めした製品についてのみとし、以下の費用は保証範囲外とさせていただきます。（取扱説明書等にはお客様に対して特別に提出された文書を含みます）

- (1) お客様が当社製品を交換または修理のために取外したり取付けたりするために要する費用および、これらの付帯する費用。
- (2) お客様の車輛をディーラー・修理工場・その他などへ移動するために要する費用。
- (3) 不具合や着脱・修理に伴うお客様の逸失利益ならびにその他の拡大損害額。

3. 有償保証

無償保証期間にもかかわらず、以下の項目が原因で当社製品に不具合が発生した場合は、有償にて調査、修理、製作を承ります。

- (1) お客様が、カタログ、取扱説明書等通りに当社製品を正しく装着・使用方法・保守されてなかった場合。（取扱説明書等にはお客様に対して特別に提出された文書を含みます）
- (2) お客様が、カタログ、取扱説明書等に従わない使用方法（使用条件、使用環境、許容値を含む）でご使用された場合。（取扱説明等にはお客様に対して特別に提出された文書を含みます）
- (3) お客様が不適切に分解、改造、または加工された場合。
- (4) お客様が、他社製品を当社製品に組み込み使用された場合。
- (5) お客様が、打合せ内容と異なる条件でご使用された場合。
- (6) お客様の車輛の不具合が原因で、当社製品に二次的に不具合が発生した場合。
- (7) 災害等の不可抗力によって当社製品に不具合が発生した場合。
- (8) 第三者の不法行為によって当社製品に不具合が発生した場合。
- (9) その他当社の責任以外で不具合が発生した場合。

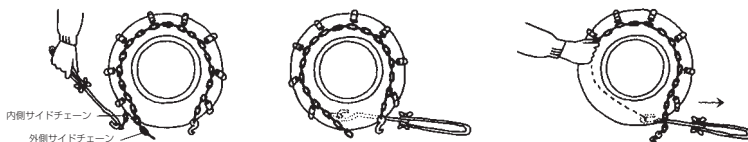
スティック(装着金具)の使い方

(カミオンマックスには、付属しておりません)

- ① 内側サイドチェーンの端を、スティックに引っ掛けます。

- ② スティックに引っ掛けたまま、内側にまわしていきます。

- ③ チェーンの左側をタイヤの内側にずらし、スティックを手元に引き寄せて、内側サイドチェーンを連結します。



株式会社 椿本チエイン

京田辺工場 〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台 1-1-3

Tel:0774-64-5012 Fax:0774-64-5106

<http://www.tsubakimoto.jp/>